◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛

筆部が設立されたのは、昭和五十六

# 愛育黎首

▼硬筆部=B5判(二五七㎜×一八二㎜)以

毛のどちらか一方に限ります。 ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・ ▼毛筆部=半紙に書いて下さい。(筆ペン可)

回作品の出し方

> (一九八一)年四月のことです。(一九八一)年四月のことです。★「三体千字文」課題からスタートし、 本が好評を博しました。一月から二年間学びましたが、今回 一月から二年間学びましたが、今回 はその続きです。し方をしっかり学びましょう。

## 〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・
斉家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二~五四九)の
梁の武帝(在位五〇二~五四九)の
命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中
からまとめたといわれる。

### (解説)

愛育黎首

伏 戎 羗ョウキョウ

臣シ

蛮族を家臣として服従させる。 **民を愛しみ育み、**  〔解

道

(同字変化

説〕

空白、個性が要求される。この辺を色々と研究するのも勉強の一方法です。今月は草書。行頭を変化させ作品的にしてみた。また道が三字出ている。書の美しさは形、運ペン、

▶教範・書範は右課題を「行書」で、

師範は

「楷書」で出書して下さい。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解

説〕

千里の馬あり しかる後に

じょう城 大 たに谷 世が清 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙

世に伯楽ありて 6月課題予告 (行書)

りゅう ます 岡 田 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙 し、宮崎県に「新しき村」を建設しま

▼6月課題予告(楷書) 以て作られる恋愛は血と肉とを

最高の芸術である 師範=行書 ·教範・書範=行草または草書

★この…(書体=行草または草書)

樺」を創刊。また人間の理想郷を目指 みる深さがあります。 力強い意志が感じられ、 も有名な言葉であり、シンプルな中に 明治四十三年、 作品から離れて一人歩きしている最 小説家 「武者小路実篤詩集」より 志賀直哉らと「白 しかも心に染

の念を持ち、質素な生活を心がけ、常 く地面で寝ていたという逸話もありま 母親から注意されるまでベットではな に哲学することを忘れませんでした。 ★芸術の…(書体=楷書) 皇帝という立場でありながら、自戒 マルクスは家庭教師から影響を受 哲学的な生活様式を学びました。 マルクス・アウレリウス (三〜八〇) 古代ローマ皇帝・哲学者

準初段から六段まで

新入から1級まで



なか 中 き貴 光 田 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

那な

▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙

ている蛙の姿は、まるで貴人の前で、和歌

【**句解**】両手をついて、かしこまって鳴い

なか中 光 き貴 田

を詠じているようだ。 鑑賞】『古今集』の仮名序に〈花に鳴く

利義尚に仕え、のち出家して京都の山崎に衛生ので、近江国(滋賀県)の人で、将軍足の上げの大田(本社)の人で、将軍足の大田(山崎宗鑑)生没年未詳。本名支那弥三郎(山崎宗鑑)生没年未詳。本名支那弥三郎の「山崎宗鑑」 生けるもの、いづれか歌をよまざりける) 鶯、水に住む蛙の声を聞けば、生きとし とあり、句はこれを踏まえている。 [出典] 阿羅野

住み、『犬筑波集』を編んだ。 [古筆参考]

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

手をついて歌申しあぐる蛙か

な奈

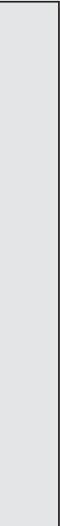
具〈 ニョウことしてところ

猫の子に嗅がれてゐるや蝸牛

させていただきます。 今月から硬筆かな課題

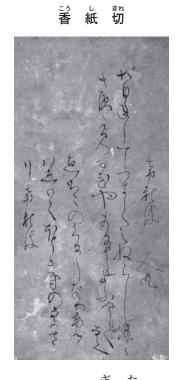
手をついて歌申しあぐる蛙かの。

きを壊さないよう文字を選び、より勉強し て書かせていただきます。よろしくお願い 日本人の風土に生きている俳句のその響 (段・級)を担当 手をついて歌申しあぐる蛙かな



五月二十五日(必着)

築な



〔古筆参考〕

ぎすかみなびやまにさよふけてなく たびねしてつぎてえぬらしほとゝ け<sup>希</sup> れ<sup>礼</sup> ば はじかてほとゝぎすのなかざ ゑちごのくにゝなりける 恵 人丸

りければ

瀬せ 舟り 香さ 書

(解説)

(出典)金槐和歌集の声が聞こえてくる。

ないのに、深い峰から鳴いて出る時鳥

【歌意】五月闇の空は視界がよくきかはいます。



(シと) (シと) (大) (かと)(D) それぞれ呼応。 分とま、 ⊕</l></l></l></l></l> (1) E

●と○の動きが作品に景色を作 の方向大切。

目にこそ見えねおとのさやけき

### 実 用 文 のページ

### 締切り 5月25日(必着)

昨日は早朝から畑を機械で耕して うまく昨夜はたくさん雨が降って 計算どおりになったと良い気分。 計算がおりになったと良い気分。 は気がです。 おりになったと良い気分。

題は一般部段位用紙を横に使用。
用紙=はがき課題ははがき用紙、横書き課す。成績は評価により毎月変わります。

作品の出し方

両課題とも、書体変換は自由です。(黒色に限る)

用具=はがき、横書き課題ともに自由

※手本は水性ボールペン使用

### 横書き課題

尾 郷 翠 光 書

世界初の郵便切手は、ビクトリア 女王の横顔で、ノペニーでした。 埼玉県越谷市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

### 泫 鄃 乜 验 删

奥村暢之

[**読み**] (高) 嶺に (生じ、) 雲露方めて (其の花を) 弦すを得 [出典] 集字聖教序(623) [筆者] 王羲之法書より集字

[大意] 山の風光はわが心を清らかに澄ませる。

〔読み〕山光我心を澄ましむ

準初段から師範まで

新入から1級まで(楷書)

須田一年だらち 葉

# 贵 部毛筆かな課題

5月25日(必着)

笑まひのにほひ思ほゆるかも<sub>解り悪のでは</sub>はまかれるできるととにをとめらが<sub>ととらで</sub>

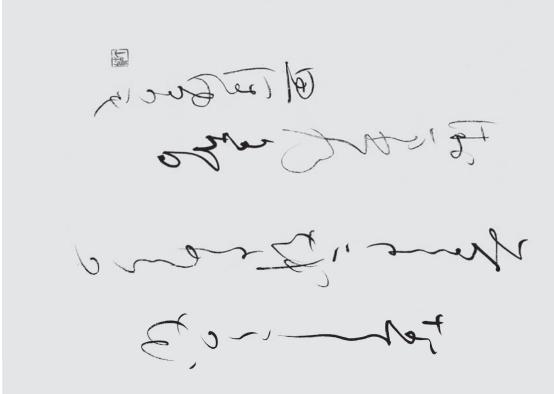
(**出典**) 大伴家持

[歌意] 撫子の花を見るごとに、その花のようなおとめ子のほぼ笑みの 美しさが思われることだ。

[句意]「かくやく (赫奕)」は光り輝くさま。光り輝く金屏風に、遜色

なく白牡丹が描かれているのである。

[出典] 与謝蕪村



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

準初段から師範まで

金屎のかくやくとしてぼたんかなきょうひゃう。

**遗井機山先生** 曹

新入から1級まで

### 般部毛筆細字課題

# ·般部毛筆条幅課題

(一三六㎝×三五㎝)

締切り

五月二十五日(必着)

半

切

荻ぉ 田た 蒼き 仙ぱん 書

やどり、堤の前を春のの風が吹いて鴬は樹に を飛ぶ。 初出品の方へ 川が流れ、 [大意] 両岸の夕暮れ 支部名・会員番号・ かもめは空

姓名·毛筆漢字成績 は書き下さい。 を、作品左下に必ず

「条幅解説」品もよく温和な作……これも大切で「条幅解説」品もよく温和な作……これも大切でない。

半紙 (3 3 4 mm × 2 4 0 mm)

だ 田 か玲 が華 と随 書

お疲れ様 これからも元気でねいたことでしょう 永い間本当にお父さんはこの日を待ち焦がれて 無事に定年を迎えられおめでとう (ご自分の氏名)

印で墨つぎしました。

[条幅・細字作品の出し方]

新入から師範まで、どなたでも出書できます。

成績(天位~5等)は、評価により毎月かわり

書体変換、変体仮名の交換は自由です。

- 7 -

一坡春水白歐天 いっぱのしゅんすいはくおうのてん 両岸晩風黄鳥樹

ょ

う

年

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

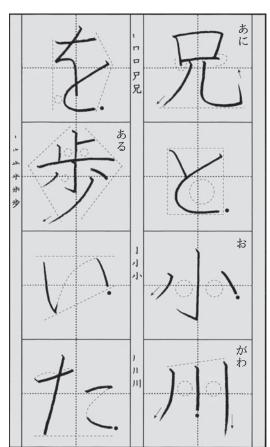
おおおけるすんですってする。

幼年~小三年まで三、宅容玉

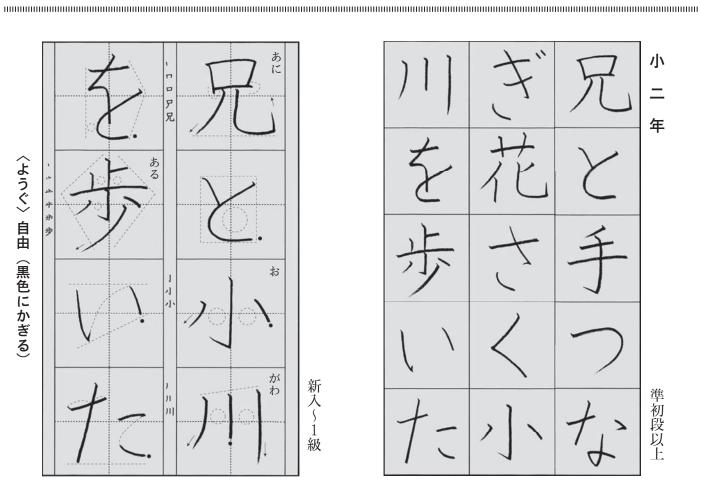
書

〈ようぐ〉自由 (黒色にかぎる)

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



新入~1級



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小

エン

小

匹 年

(全員)

コウ

書してください。 新四年生は、左記により、 全員この手本どおり8マス用紙で出

う カ 折 存 遊

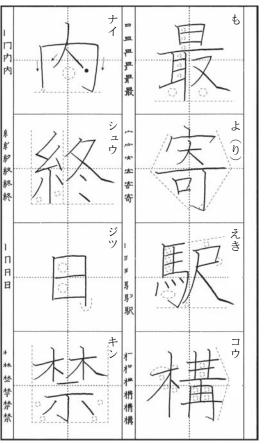
\*六月締切り分までは、 らず、 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くな のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。 この方法を続けます。

七月締切り分からは、 ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。 準初段以上は従来どおり15マス用紙を

使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

(よく見て習いましょう)



小 五 年 小五以上は、 全員15マス用紙で出書して下さい。 (全員)

書

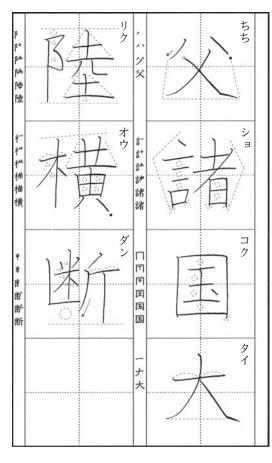
小

六

年

(全員)

〈用具〉自由(黒色に限る)



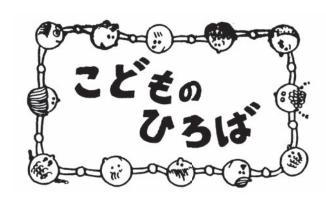
解説(よく見て習いましょう)

を横り諸州大国た

◎お手本はつけペン使用

			_
早	抜	法	中二・三
目	1	滞	<b>一年</b> (楷書)
	道	2	書)
师	通	述	
定	1)	N	

の を 性 理 た 発 説 会



しめきり 5月25日(必着)

習っていない漢字は ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 山 本 清 流 書

声援を送る

# ◇作品の出し方

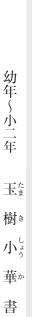
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 下さい。 下さい。 で品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- を適当に短くして下さい。四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章

ていない方は新入とみなします。一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っ

一、成績は評価により毎月変わります。

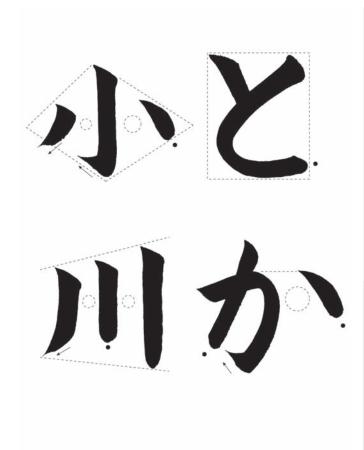
◎お手本はえんぴつ使用

◎お手本はつけペン使用

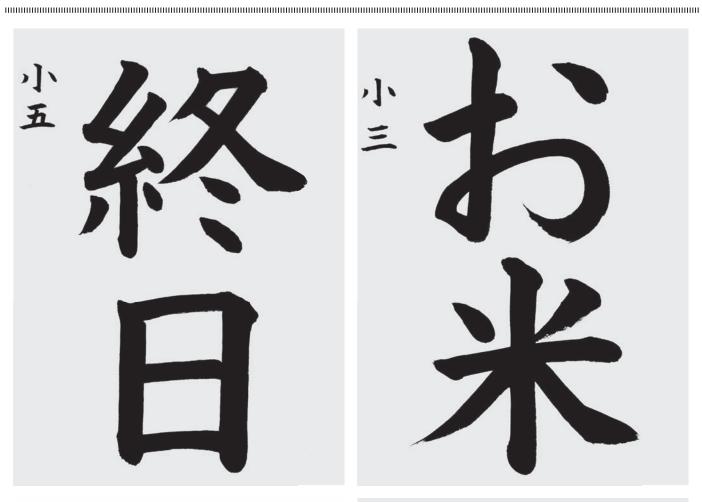
















小三~小五年 水ず

野の 香さ 竹き 書

小六~中二•三年 奥な 村ら 暢ぶ 之き 書





